



祝 辞

国際空手道剛柔会
全日本空手道剛柔会
宗家・会長

山口剛史

新年明けましておめでとうございます。

本年は日本大学藝術学部剛柔流空手道部OB会の創部65周年を迎えるにあたり衷心よりお慶びを申し上げます。

日本大学藝術学部剛柔流空手道部設立時の昭和21年は正に太平洋戦争終戦直後の混乱と食料等物資不足の中、毎日の生活が困難な時期でのクラブ活動は大変ご苦勞された事とお察しいたします。

歴代先輩諸氏の並々ならぬ情熱とご努力によって今日現役まで永い伝統が引き継がれてまいりましたことに深く感銘いたします。

父、山口剛玄は昭和22年シベリア収容所から復員して昭和24年浅草日本堤に剛柔流空手道道場を開設し、浅草千束に道場を移転した折、既に日本大学内において空手道部を設立された此本 孝先生をはじめ戦前からの古いメンバー全国に声を掛け合って昭和25年「全日本空手道剛柔会」を設立いたしました。

幼少の頃、熱気と汗の飛び交う浅草道場で一般道場生に混じった日本大学生皆さんの活気ある気合を懐かしく思い起こします。

以後、全日本空手道剛柔会の登録団体としてご支援、ご協力を頂いておりますことに会長として心より御礼を申し上げます。

空手道は日本国内に止まらず広く世界の隅々まで普及発展致しましたが、大学を卒業して広く海外に遊学され現地に止まって空手道を普及された諸先輩方々のご苦勞と熱意にも敬意を表する次第で御座います。

昨年の東日本大震災を受け、全日本空手道剛柔会は平成23年度全国大会を日本大学藝術学部剛柔流空手道部OB会から土屋貴司氏を実行委員長に推挙し「日本復興・剛柔の息吹」支援大会として成功裡に終了する事ができました。OB各位の賛助ご支援に感謝致します。

国内の諸大学空手道部事情はその存続に大変厳しい状況で御座いますが、当クラブはOB会長をはじめOB、OG諸氏の協力と師範、監督、コーチ陣の良き指導、そして現役幹部、部員との適切な連携と運営によって正常活発なクラブ活動がなされております事は誠に心強い限りで御座います。

近年の不安定な社会情勢の中、剛柔流空手道で培った体力、精神力を以って力強く社会に巣立つ多くの人材を育成されます事を願ってお祝いの言葉と致します。

山口剛史

昭和17年9月28日満州新京にて誕生。日本大学藝術学部卒業(剛柔流空手道部第20代OB)。山口剛玄の三男として父を補佐し、国内外の指導にあたる。山口剛玄逝去のあと、全日本空手道剛柔会、国際空手道剛柔会宗家として、会長・最高師範に就任。

(財)全日本空手道連盟公認全国指導員、全国審判員、元世界空手道連合国際審判員、(財)日本体育協会上級コーチ、A級スポーツ指導員。